

What is Kapustin?

ジャズの色彩とクラシックの形式

ソナタ形式を始めとした、洗練されたクラシックの形式美その土台の上にジャズ特有のリズムやスケール、テンションノートを駆使したハイモーンが加わることで、カプースチン独自の作曲スタイルが成立しています。

曲によっては即興演奏のように聴こえるかもしれませんが、それは意図したバリエーション、実は階層も複雑なパッセージ、一音階が響き渡られた音として仕掛けています。

瞬間的に生まれる即興演奏ではない、生み出された高そのなカプースチンによって成立しているカプースチンの楽曲は、ジャズクラシック……ではなく、まさしくジャズとクラシックの要素が両立された音楽だと考えて良いでしょう。

耳が騙されるリズムの“ズレ”

大抵なら1拍目に聴かせるのに、実際に楽譜を見ても実は1拍目の最初だった付リズムの“ズレ”を自在に繰るカプースチンは、まるで魔法使いのよう。



キャッチーとカオスの対比

複雑技巧を要する曲線なフレーズが行き交う中で、ふと聴き出すのは思わず口ずさみたくなるような旋律、緊張と緩和的さ加減に、耳が引き寄せられます。

まるで手書きさとは、繊細で打ち込まれたかのように聞こえ、カプースチンの自筆楽譜のつくりと、カプースチンの自筆楽譜の、指番号まで書いてあるのです。

そんな自筆譜からは、カプースチンがひとりで、カプースチンに対して非常に強いこだわりを持って書いたことが伺えます。楽譜を修正する際にも、元の楽譜との違いが分かるように、どこか線を修正を施すことが多かたそうです。

音のよう、安定した強さ、どんなに激しい曲でも、どんなに速い曲でも、全ての手をしっかりと収めて、淡々と弾き出す。圧倒的な演奏技術を持つカプースチンの響き、はるかに伝わる。

detail

Program

- no.1 変奏曲 op.41
- no.2 8つの演奏会用エチュード op.40より第3番
- no.3 シンフォニック op.49
- no.4 ヴァイオリソナタ op.70
- no.5 フルート、チェロとピアノのための三重奏 op.86

港南区民文化センター「ひまわりの郷」ホール

オールカプースチン・ジャムコンサート

主催 K's Piano Club 〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 市めおおおか
 後援 法政学園音楽大学同窓会
 お問い合わせ ks.pianoclub@gmail.com 中央楼4F 横浜市民会館 京浜本線「上大岡」駅下車 徒歩3分

What is Kapustin?

冗談好きな一面

口説きが少なく滅多に笑うこともないそうですが、実は冗談好きな一面も。日本からカプースチンの元を訪れたピアニストに「これ、美味しいよ」と言っていると料理が実は悪字料理だった！なんて逸話も残っています。あまり笑わないカプースチンが、そのときは大笑いしていたのだとか。

カプースチンの楽曲

ニコライ・カプースチン (1937-2020) はウクライナ出身のコンポーザー・ピアニスト。クラシックとジャズの要素を融合させた作曲スタイルが特徴的で、いちど聴いただけで思わず笑顔になってしまうような楽曲群は、ユーモアに富んでいます。

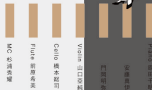
クラシックへジャズのスパイス

学生時代からクラシックとジャズの演奏活動を両立してきたカプースチン。しかし、カプースチンにとってはクラシックの面がより重要であり、あくまでジャズのスタイルは「色彩」を添えるものなのです。

実は、曲のタイトルを決めるのが苦手

カプースチンが2000年以降に作曲したピアノ小品には、ジャンジャブレッドマン、スパイス、アイランドを始めとした独特なタイトルの作品が存在し、これらは数学者で物理学者の息子であるアントンが考えた名前だそう。曲を作るのは得意でも、タイトルを考えるのが苦手だったカプースチン、なんだか意外な一面のよにも感じられます。

K'S PIANO CLUB



予約はこちら



Ticket. 一般 ¥2,000
全席自由

当日券有り
中学生以下無料
本観覧不可

学生 ¥1,500